

3年1組 算数科学習指導案

日 時：令和4年6月〇日（〇）第5校時
場 所：〇〇小学校 3年1組教室
授業者：どんどんコース 〇〇 〇〇

1 単元名 かけ算の筆算 全13時間

2 指導の立場

(1) 単元について

本単元で扱う『かけ算の筆算』は、学習指導要領には以下のように位置付けられている。

A (3) 乗法

- ア (ア) 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。
(イ) 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。
(ウ) 乗法に関して成り立つ性質について理解すること。

イ (ア) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすること。

A (7) 数量の関係を表す式

イ (ア) 数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりすること。

内容の取扱い

- (2) 内容の「A数と計算」の(2)及び(3)については、簡単な計算は暗算でできるよう配慮するものとする。また、計算の結果の見積もりについても触れるものとする。
(4) 内容の「A数と計算」の(3)のアの(ウ)については、交換法則、結合法則、分配法則を取り扱うものとする。

第2学年では、乗法について、数量の関係に着目し、乗法の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりすることなどを学習してきている。

第3学年では、本単元で2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方を、3学期の単元で2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算の仕方を学習する。本単元では2位数や3位数に1位数をかける乗法について、既習の乗法などをもとにして考え、筆算で計算できるようになることをねらいとしている。

ここで育成される資質・能力は、第4学年の多数桁の除法の学習や第5学年の小数の乗法及び除法の学習に生かされるものである。

(2) 児童の実態から

第2学年より少人数指導を取り入れている。本学級の算数科の授業では、事前にプレテストを行い、その結果を受けて「どんどんコース」と「じっくりコース」に分かれる。「じっくりコース」は10人以下にして、きめ細かい指導ができるようにしている。学習に粘り強く取り組むことができる児童が多いので、単位時間の最後の評価問題を、各コースでしっかりやり切ることを大切にしていきたい。

(3) 指導の方向

【研究内容Ⅰ ①意欲を引き出す導入の工夫】にかかわって

前時までの学びを教室内に掲示したり、前時(2けた×1けた)同様に数玉や分ける式を書いたりした活動を通して、「けたがふえても計算できるようになりたい」という追求の意欲をもたせたい。

【研究内容Ⅰ ②考えをもち、深める展開の工夫】にかかわって

前時までの学習である「位ごとに分けて考える」をキーワードにすることで、3けた×1けたも2けた×1けたの計算の仕方をもとにして、位ごとに考えるとよいことに気付かせ、自分の考えをもたせたい。さらに数玉と分ける式の共通点(位ごとに分けて考える)を見つけることで、位ごとに分けて考えることの大切さを再認識させる。

また、ペア交流や全体交流を通して、自分の考えを仲間に伝えることで、自分の考えを整理・再確認させる。

